

2019 A 日程 LS [0708]

受験番号

2018 年度秋入学・2019 年度春入学 甲南大学法科大学院

一般入学試験問題

専門論文試験

民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

**受験についての注意**

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法、刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 民事訴訟法

《問題》

以下の〔設問1〕、〔設問2〕、〔設問3〕に答えなさい。

〔設問1〕

既判力の客観的範囲について説明しなさい。

〔設問2〕

弁論の併合と分離について説明しなさい。

〔設問3〕

証拠保全手続について説明しなさい。

## 専門論文試験 刑事訴訟法

《問題》

以下の各〔設問〕に答えなさい。なお、条文または判例に従うものとします。

〔設問 1〕

刑事訴訟法で法定されている捜査の端緒について説明しなさい。

〔設問 2〕

被疑者を勾留するための手続と要件について説明しなさい。

〔設問 3〕

証人尋問の方式、尋問の際に物などを示す方式について説明しなさい。